

平成 29 年度 定期総会 ・ 全体研修会のご案内

一般社団法人 富山県手をつなぐ育成会
理事長 四方 正治

平成 29 年度の「定期総会・全体研修会」の開催についてご案内いたします。
今年、10 月開催の東海北陸大会に県大会（創立 60 周年記念大会）を併催するため、定期総会については、趣を変えまして、全体研修会を併せて開催することといたします。

さて、昨年 7 月に起きた相模原市の障害者支援施設での事件は、未だ記憶に新しいところです。障害者差別解消法が 4 月に施行され、これからといった矢先の事件であり、その加害者による「障害者はいなくなればいい」といった発言には、障害のある人自身、また、私たち親や家族は大きく傷つきました。

法律や条例はできましたが、障害者への無理解や偏見、差別といった意識は、まだまだ根強くあるのが現実です。

そんな中、知的障害者の疑似体験を通して、障害について「知ってもらい、理解を深めてもらう」といった啓発活動が、今、全国の育成会や親の会を中心に広がっています。

障害のあるわが子が地域の中で安心して暮らしていけるように、障害を「知る」ことで理解を深めてもらいたい、という親心から始まった活動です。

今回の全体研修会では、差別や偏見がなくなることを願い、障害者の権利擁護と地域に向けた理解啓発活動について、学び合う機会とします。

是非、お誘い合わせて、多数ご参加くださいますよう、お待ち申し上げます。

記

1. 日 時 平成 29 年 6 月 4 日（日）13 時～16 時 20 分

2. 会 場 呉羽ハイツ 多目的ホール雅

3. 日 程 受 付 12 時 30 分

全体研修会 13 時～15 時 15 分

定期総会 15 時 30 分～16 時 20 分

閉 会

（※お車は、係員の誘導に従って駐車してください。）

<全体研修会> 13時～15時20分

～「やまゆり園」事件を受けて～

障害のある人の権利擁護と、地域に向けての理解啓発活動

1. 講演 (13時～14時)
講師 関哉 直人 氏
(弁護士・全国手をつなぐ育成会連合会 権利擁護センター委員)
2. キャラバン隊 実演 (14時05分～14時50分)
<市川手をつなぐ親の会 「空」の皆さん>
3. 質疑応答 (14時50分～15時15分)
これからの理解啓発活動、キャラバン隊活動等について

「障害者ってどんな人？障害ってどんな感じ？」理解啓発活動

今、全国の育成会や、障害のある人の家族の会では、障害への理解を深めるための活動、キャラバン隊での理解啓発活動が広がっています。

障害のある人の“疑似体験”を通して、障害者って、どんな人なんだろう？

どんな気持ちなんだろう？何に困っているんだろう？どうしてあげたらいいんだろう？

・・・と、知ってもらい、理解を深めていく活動です。

今回は、千葉県市川市から、結成13年目を迎えた、キャラバン隊『空』の皆さんをお迎えし、実演していただきます。

今後、富山県育成会でも、子どもたちや地域に向けた、理解啓発活動を広げていきたいと考えておりますので、まずは、私たちが「疑似体験」をしてみましょう！

関哉 直人 氏

弁護士、全国手をつなぐ育成会連合会・権利擁護センター委員。

障害のある人の権利擁護について継続的に取り組み、障害のある人も住みやすい社会になることを目指し、弁護士活動を行われています。被後見人の選挙権回復を求めた訴訟では、弁護団事務局長として、東京地裁の「勝訴」に携わりました。

障害者への虐待事件や、相模原での事件、各地でのグループホーム建設反対運動等を受け、地域や学校に向けた理解啓発活動の推進を提案されています。

市川手をつなぐ親の会 キャラバン隊「空」

障害のある人が安心して暮らすためには、地域の方々の理解がなければ成り立たないという思いから、平成16年に結成され、現在に至ります。

市川市内の小・中学校を中心に、近隣地域の小・中学校、教員研修、自治会、民生委員、大学生、警察学校等、これまで200件以上の公演を行ってきました。

親の思いを交えながら、わかりやすく、親しみやすく、障害特性を伝えています。